

北海道浮魚ニュース

平成 23(2011)年度 17 号

2011 年 9 月 22 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

9 月 22 日に水産庁より第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されました。

下記のホームページに詳しい予報文が掲載されますのでご覧ください。

水産庁プレスリリースのアドレス : <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/index.html>

対象魚種と予測期間 : スルメイカ, 2011 年 10~12 月

対象海域 : 根室海峡~オホーツク海, 道東太平洋,
津軽海峡~道南太平洋, 常磐~三陸海域

注) 魚体の大きさは外套長で比較

●根室海峡~オホーツク海

(いか釣り、定置網、底曳網)

来遊量 : 前年並み。

漁期・漁場 : 10~11 月が漁期の中心となる。

魚体 : 前年並み。

●道東太平洋 (いか釣り、底曳網)

来遊量 : 前年並み。

漁期・漁場 : 10 月まで漁場が形成される。

魚体 : 前年並み。

●津軽海峡~道南太平洋 (いか釣り、定置網)

来遊量 : 前年を上回る。

漁期・漁場 : 予報期間を通じて漁場となる。

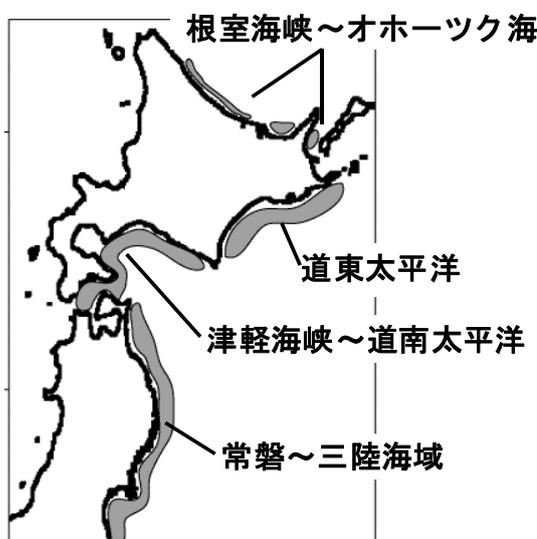
魚体 : 前年並み。

●常磐~三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

来遊量 : 前年を下回る。

漁期・漁場 : 予報期間を通じて漁場となる。

魚体 : 予報期間の前半は前年より小さく、後半は前年並み。



※ 今年 8 月中旬~9 月上旬の調査の結果、スルメイカは道東太平洋沿岸と三陸沿岸に多く分布していました (図 1)。道東太平洋のスルメイカは、今後、主に津軽海峡~道南太平洋へ移動し、漁況を好転させると予測されます。また、7 月の北方四島周辺の海面水温が比較的高かったことから、太平洋からオホーツク海へ移動したスルメイカも多いと想定されるため、根室海峡~オホーツク海への来遊量は前年並みに多いと予測されています。

オホーツク海から宗谷海峡を経由して日本海に移動するスルメイカも前年並みに多いと予測されます。また、太平洋から津軽海峡を経由して日本海へ移動するスルメイカの量は前年並みと予測されます。

また魚体については、8 月中旬~9 月上旬の道東太平洋が前年と同程度かやや大きい程度であったことから (図 2)、今後は、各海域ともに前年並みの大きさになると予想されます。

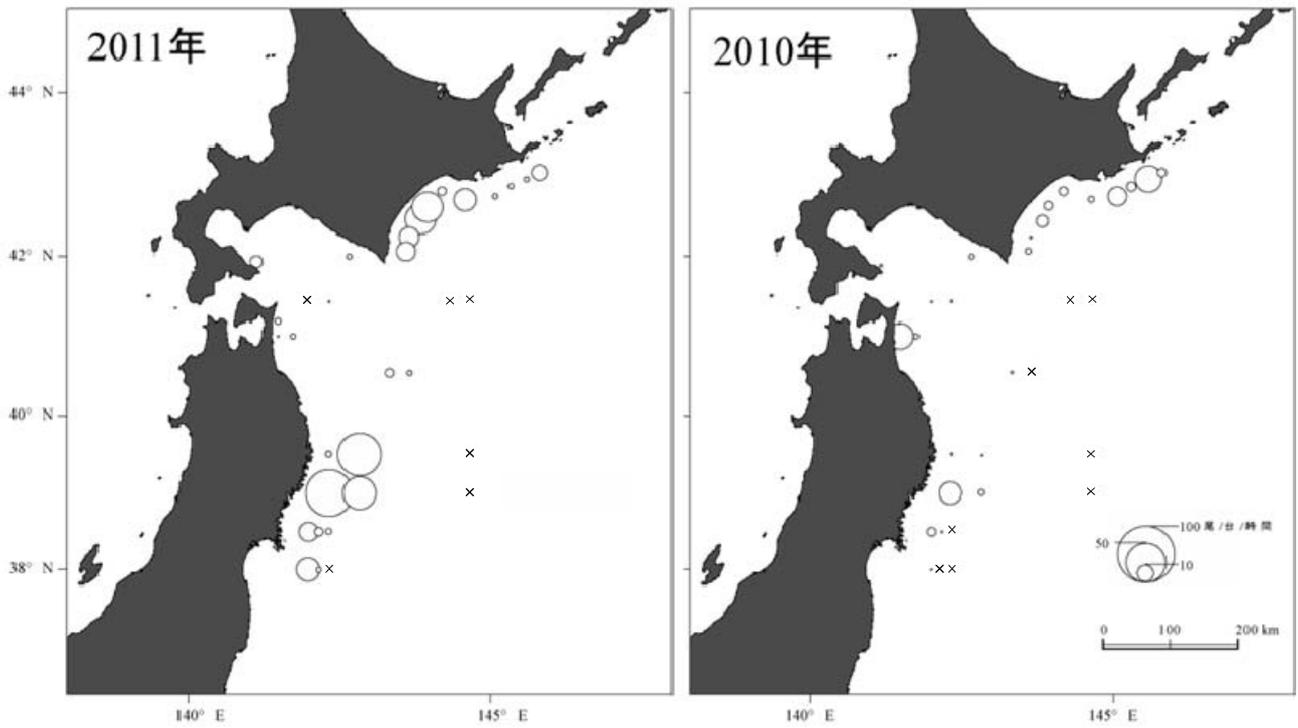


図1 2010年と2011年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの分布
 注)○の大きさは自動いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数を示し、
 ×は漁獲がなかった調査点を示す。

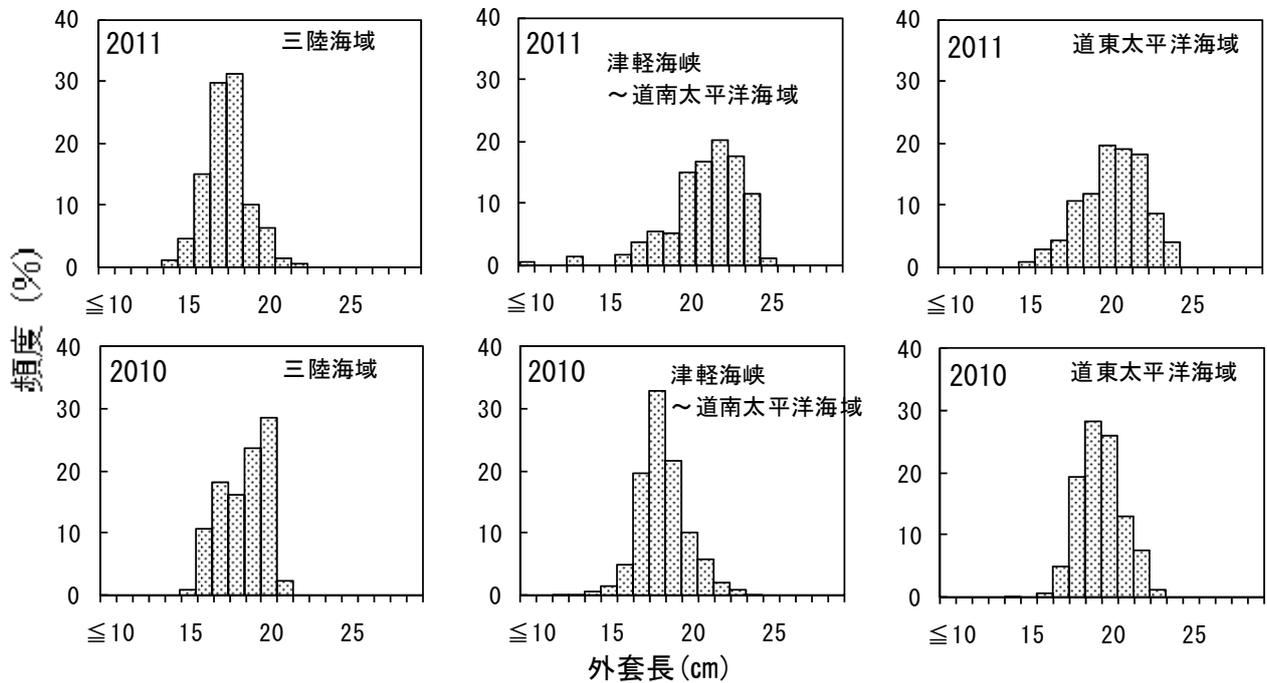


図2 2010年と2011年の8月中旬～9月上旬のスルメイカの大きさ

平成23年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報は太平洋側道県水産試験場が共同で行ったいか釣りによる調査船調査(図1, 2)などの各種調査結果や漁期前半の漁況などにもとづいて検討されました。図は平成23年度第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報資料を改変。

(文責：釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)